

An aerial photograph of a city, likely Tokyo, with a dense urban landscape. In the background, a range of mountains is visible, with Mount Fuji being the most prominent, its snow-capped peak clearly defined against the sky. The city below is a mix of residential and commercial buildings, with a large stadium or sports complex visible in the lower right quadrant. The overall scene is captured from a high angle, providing a comprehensive view of the city's layout and its proximity to the mountains.

# 報告事項 防災対策事業の 推進状況について

令和8年2月13日(金)

# I 災害に強い都市づくり

## 1. 木造住宅耐震診断助成制度及び木造住宅耐震改修等助成制度

木造住宅耐震診断助成制度 (平成20年4月～)	木造住宅耐震改修等助成制度 (平成21年4月～)
9件	9件

令和7年度実績(令和7年12月末現在)

## 2. 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業(平成23年度～)

耐震診断	補強設計	耐震改修等
0件	0件	1件

令和7年度実績(令和7年12月末現在)

## 3. 家具転倒防止器具助成事業 申請者数

高齢者	障害者
5件	0件

令和7年度実績(令和7年12月末現在)

## 4. 東京都多摩広域防災倉庫への防災物資の保管(平成29年度～)



多摩広域防災倉庫

倉庫内備蓄品

# II 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

## 1. 総合防災訓練の実施

令和7年11月16日(日)に立川第六中学校他において立川市総合防災訓練を実施した。

地域住民を中心とした避難所開設・運営訓練や防災関係機関による展示・体験ブースの他、消防署の発案による地域住民・消防団・消防署合同の救助・消火訓練を行い、来場者や関係機関あわせて1,335名の方が訓練に参加した。令和8年度は11月8日(日)立川第七中学校他で予定をしている。

訓練全景



避難所開設及び運営訓練



救助・消火訓練



展示・体験ブース



# II 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

## 2. 地域防災訓練の学校との合同実施

自治会連合会支部を中心に12会場で実施した。各地区では自治会・市民防災組織・市民消火隊・消防団の方々と連携して、初期消火訓練、救護訓練や防災資器材の確認等に取り組んだ。



地域防災訓練



放水訓練(市民消火隊)

支部	実施日	実施会場
幸町支部	5月31日(土)	第八小学校
柴崎町支部	6月14日(土)	第一小学校
富士見町支部 (四小校区)	6月21日(土)	第四中学校
若葉町支部	6月29日(日)	立川第九中学校
羽衣町支部	9月7日(日)	第六小学校
柏町支部	9月13日(土)	柏小学校
錦町支部	10月19日(日)	第三小学校
富士見町支部 (八中校区)	11月23日(日)	新生小学校
高松町支部	11月1日(土)	第五小学校
砂川支部	11月2日(日)	見影橋公園
西砂支部	12月7日(日)	西砂小学校
曙町支部	12月7日(日)	第二小学校

全12会場 参加総数5,320名

# II 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

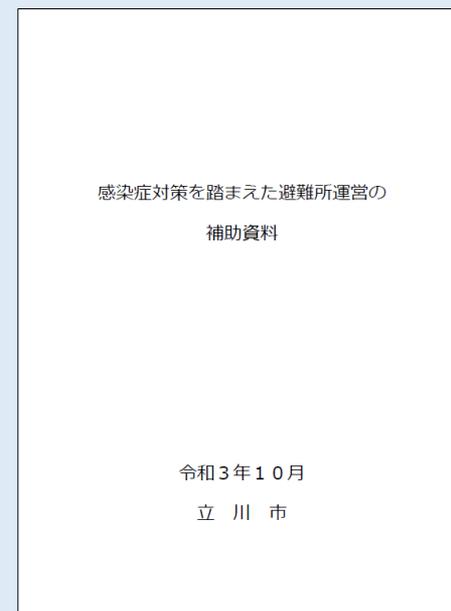
## 3. 避難所運営支援事業

4年に一度、地区毎に避難所運営マニュアルの更新を行っている。令和7年度は錦町、曙町、若葉町を更新予定。令和3年度に作成した感染症対策を踏まえた避難所運営の補助資料の内容を反映し、修正している。地域が主体的に避難所運営ができるよう継続して支援していく。

事業年度	地区		
平成30年度	高松町	砂川	西砂
平成31年度	富士見町	柴崎町	羽衣町
令和2年度	栄町	幸町	柏町
令和3年度	錦町	曙町	若葉町
令和4年度	高松町	砂川	西砂
令和5年度	富士見町	柴崎町	羽衣町
令和6年度	栄町	幸町	柏町
令和7年度	錦町	曙町	若葉町
令和8年度(予定)	高松町	砂川	西砂

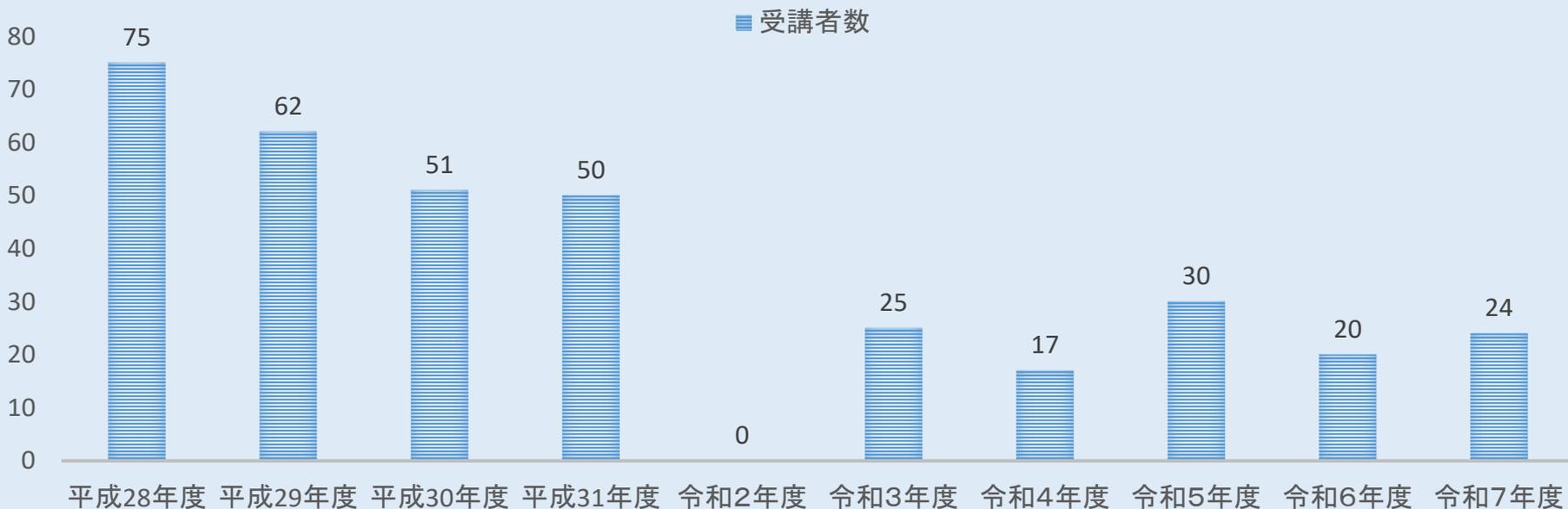
## 参考

- ・避難所運営マニュアル
- ・感染症対策を踏まえた避難所運営の補助資料



## Ⅱ 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

### 4. 市民防災組織の救命講習受講（平成19年度～）



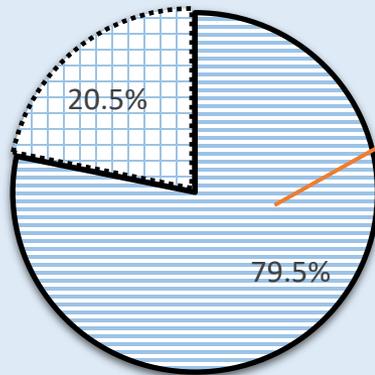
### 5. 防災士資格取得の支援(平成20年度～)



## II 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

### 6. 市民防災組織の結成促進(令和7年12月末現在)

地域における「共助」を推進するため、市民防災組織の結成促進と組織の運営を充実させるための運営補助金を交付した。令和7年12月末現在140組織の市民防災組織が活動している。



立川市組織率 79.5%  
前年より1組織増



### 市民防災組織運営充実のための主な補助金等

補助金名	補助基準	補助金額
市民防災組織結成補助金	市民防災組織を結成した年に交付	20,000円
市民防災組織運営費補助金	結成補助金を交付した年度の翌年度以降、年度ごと	15,000円＋世帯数×@50 (限度額＝70,000円)
立川市市民防災組織 災害対応力向上支援事業	Wi-Fi機器、非常用発電機、蓄電池 ※いずれも可搬式に限る	購入費用の2分の1(上限有)

## II 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

### 7. 立川駅前周辺帰宅困難者対策(平成22年度～)

#### (1) 災害時の帰宅困難者・駅前滞留者に関する対応計画の修正

対応計画は、平成23年東日本大震災を受けた直後より協議され、平成25年に策定された。策定後も最大震度7の複数の地震(熊本、北海道胆振東部)が発生したことを踏まえ、令和2年に計画修正を行った。さらに令和4年に東京都が公表した「首都直下地震等による東京の被害想定」を始め、国及び都の帰宅困難者対策を踏まえ検討し、令和7年3月に修正した。

令和7年度は、前年度修正した計画をもとに訓練を実施した。また立川駅前滞留者対策推進協議会を1回開催し、今後の対応事項について認識の共有化を図った。

#### 立川駅前滞留者対策推進協議会の開催

令和8年1月26日

#### 令和7年3月の主な修正ポイント

- 1 都の首都直下地震被害想定に合わせた修正
- 2 都の帰宅困難者対策オペレーションシステム(キタコンDX)等を導入した訓練実施
- 3 国の大規模地震の発生に伴う帰宅困難者対策ガイドラインの反映

災害時の帰宅困難者・駅前滞留者に  
関する対応計画



平成25年8月策定

(令和7年3月修正)

立川駅前滞留者対策推進協議会

## II 市民・地域・事業者等との防災連携体制の確立

### 7. 立川駅前周辺帰宅困難者対策(平成22年度～)

#### (2) 立川駅前帰宅困難者対策訓練の実施

10月20日(月)に立川駅前滞留者対策推進協議会の構成員である公共交通機関のほか、一時滞在施設職員等と立川駅前帰宅困難者対策訓練を実施した。災害発生時に帰宅困難者を複数の一時滞在施設へ誘導・受け入れ等が適切に行えるかの検証を目的に実動訓練を行い、80名が参加した。



訓練開会式(酒井市長挨拶)



帰宅困難者移動(北口)

### 8. 災害時支援協定の締結

令和7年度(前年度防災会議以降の協定締結分も含む。)

エレコム(株)(災害時及び平時における物資等の供給)

NTT東日本(株)、(株)NTT Landscape(防災対策及び災害対応への協力)

(株)多摩ケータリング倶楽部(災害時におけるキッチンカーによる炊き出し等の実施)

# Ⅲ 防災活動体制の充実

## 1. 火災り災者の支援(令和7年12月末現在)



## 2. 三市二署合同水防訓練の実施

令和7年5月18日(日)に国立市谷保9544番先多摩川左岸河川敷において、台風や集中豪雨による河川の増水を想定して、各関係機関が連携し、水防活動や救助活動、情報伝達訓練等を国立市、昭島市、立川消防署、昭島消防署と合同で実施した。参加機関含め約230名が参加した。

令和8年度は5月17日(日) 立川市で予定。



土のう工法の様子



救助活動の様子

# Ⅲ 防災活動体制の充実

## 3. 立川市消防出初式の実施

年頭にあたり「自分たちのまちは、自分たちの手で守る」という立川市消防団及び市民防災組織と消防関係者の士気高揚と市民への防災意識の向上に資することを目的に、令和8年1月11日(日)に国営昭和記念公園みどりの文化ゾーンにおいて、立川市消防出初式を実施した。

一斉放水などの消防演技、立川市吹奏楽団の演奏のほか、はしご車体験乗車などを行った。来賓・参加団体等含め2,600名が参加した。

令和8年度は令和9年1月10日(日)、国営昭和記念公園で実施予定。



# Ⅲ 防災活動体制の充実

## 4. 図上防災訓練の実施(平成22年度～)

令和4年度から、訓練対象班ごとにワークショップ形式訓練を行い、「震災時課別業務分担表」と「応急活動タイムライン」を作成。令和7年度は、広報班、環境対策班/給水班、下水道施設班/給水班、給食班が訓練対象班として資料の作成を行った。2月2日(月)に訓練報告会を実施し、理事者へ報告を行った。

図上防災訓練後半は、豊島区総務部防災危機管理課 防災震災対策専門員 佐藤 和彦氏による防災講座を行い、約60名の職員が聴講した。



## 5. 被災者生活再建支援研修会

り災証明書の発行を担当する現地調査班を対象に2回(8月、1月)実施した。

# Ⅲ 防災活動体制の充実

## 6. マイ・タイムライン講習会の開催

東京都総合防災部と連携して、浸水想定区域内の小学校を対象に、マイ・タイムライン講習会を初めて開催した。地域のハザードマップの確認、マイ・タイムラインの作成、VR体験を実施。

自らの学校が避難所として使えないという事実には多くの驚きの声上がり、リスクを「自分ごと」として捉える上で極めて効果的であった。



### 今日の君たちの任務(ミッション)だ!

今日はみんなに「防災探偵」になってもらいます!



- 君たちの最強の武器は、その手元にある「**ハザードマップ**」!
- このマップを使いこなし、わたしたちの町「立川」、そしてこの「**新生小学校**」に隠されたヒミツとキケンを解き明かしてこよう!

### 探偵の基本②:見えないキケンも知る



- 川からあふれる洪水の他にも、キケンはある。
- それが「**内水氾濫(ないすいはんらん)**」だ!
- 一度にもすごい量の雨が降ると、**道路のマンホールなどから水があふれ出す**ことがある。
- これは、川から離れていても起こるキケンな現象だ。

### 任務完了!君も今日から防災リーダーだ!

- 今日の調査で、立川の地形のヒミツと、いざという時の行動がわかったね。
- この知識を使って、**自分と、大切な家族や友達の命を守ろう!**

